

令和7年度第1回練馬区食育推進ネットワーク会議（第10期）会議要録

1 開催日時

令和7年7月4日（金）午後2時30分～4時00分

2 開催場所

練馬区役所本庁舎5階庁議室

3 出席者

委員長 健康部長

副委員長 健康部健康推進課長

委員 小野委員、上月委員、杉山委員、鈴木委員、松前委員、割田委員、高安委員
小倉委員、佐藤委員、本橋委員、栗原委員、熊木委員、櫻井委員

幹事 大泉保健相談所長、都市農業課農業振興係主査（代理）、清掃リサイクル課
清掃事業課係長、保健給食課学校給食係長、保育課保育所給食係長（代
理）、生活衛生課食品衛生担当係主任（代理）、健康推進課健康づくり係長、
石神井保健相談所栄養担当係長

事務局 健康推進課栄養食育係4名

欠席委員 石井委員

4 公開の可否 公開

5 傍聴者数 0名

6 配付資料

資料2-1 第1期～第9期の活動内容

資料2-2 食育推進ボランティアの育成および活動支援について

資料2-3 食育推進ボランティアとの協働事業「ちゃんとごはん」プロジェクトについて

資料2-4① ねりまの食育応援店事業について

資料2-4② ねりまの食育応援店登録状況

資料2-5 野菜摂取量向上を目指した取組について

資料2-6 若い世代への食育の取組について

資料3 第10期活動について

資料4 第10期1年目会議日程

7 会議要録

（1）開会

（委員長）それでは令和7年度第1回練馬区食育推進ネットワーク会議を開催いたします。本日はお忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。お手元の次第にそって進めさせて頂ければと思っております。まず次第の1ですけれども、委嘱状の交付ということで、恐縮ですが机上配布によりかえさせてい

たきます。委嘱期間につきましては本日から令和9年3月31日までということでございますのでどうぞよろしくお願いいたします。

続きまして次第の2、委員長、副委員長の挨拶ということでございます。改めまして委員長を務めさせていただきます健康部長でございます。この会議は、平成19年度からスタートしましてもう18年ほどになります。本日から第10期のメンバーということでスタートさせていただくことになります。ご出席の区民の皆様、関係組織団体の皆さんの意見を伺いながら、また相互連携を深めながら食育事業を推進していくことを目的に設置してございます。昨今ですと栄養の偏りですとか不規則な食生活による肥満ですとか、それらを原因とした生活習慣病などが増加しております。また若年層のうち特に女性の方を中心とした過度のダイエット、高齢者の方の低栄養の傾向といったものも問題になっています。また違う角度から見ますと、食品ロスの問題ですとか色々食に関しての課題というのが出てきております。こういった課題に取り組むようにということで、後ほど紹介させていただきますけれども、「健康づくりサポートプラン」といった行政計画などを策定して取り組みを進めていくところでございます。皆さんの生活実感に基づくご意見や、組織団体活動の中で日頃から感じていらっしゃることをぜひ聞かせていただければと思います。そして区の取り組みをより実効性の高い取り組みを進めていければというふうに考えてございます。あまり型にはまらずざっくばらんに意見交換をできればと考えてございますのでどうぞよろしくお願いいたします。では続きまして副委員長からお願いします。

(副委員長) 副委員長を務めさせていただきます練馬区の健康推進課長です。よろしくお願いいたします。食育の担当所管課でございます。今、委員長からもありましたが、昨年度、区の健康づくりの総合計画である健康づくりサポートプランの中で、一つ大きな柱として施策を進めていこうという立ち位置にあります。是非皆様の様々な意見をいただきながら食育を推進し、区民の健康づくりを進めて参りたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

(委員長) それでは委員・幹事紹介ということで進めさせていただきます。お手元の資料1-1および1-2をご覧ください。本会議の委員・幹事名簿です。この順番でお名前と一言ご挨拶をいただければと言うことでよろしくお願いします。

〈各委員・幹事による自己紹介〉

(委員長) 案件4 (1) 練馬区食育推進ネットワーク会議における取組ということで、ア「第1期から第9期の活動内容」イ「練馬区健康づくりサポートプラン」資料2-1、資料2-2の説明をお願いします。

(事務局) 資料2-1、資料2-2の説明

(委員長) 第1期からの取り組みが一覧になったものとその間に作成した各種冊子を配ら

せていただきました。それと今年の3月に作成した健康づくりサポートプランということで、令和10年度までこの健康づくりサポートプランというのを柱にしながら、様々な取り組みを進めていきたいというふうに考えてございますけれども、事業の中身はその都度その都度皆様にご意見いただきながらできればということで考えているところでございます。今のところでご質問ですとかご意見ですとかございますか。そうしましたらまた後で重なる部分もありますので、もし確認というようなことがございましたらその時にご意見いただければと思いますのでよろしく願いいたします。では次に進めさせていただければと思います。続きまして案件(1)のウになります。「食育推進ボランティアの育成および活動支援について」からキまで一括説明でよろしいですか。ではウからキまで続けて説明させていただきます。資料2-3から資料2-6までの説明をお願いいたします。

(事務局) 資料2-3から資料2-6の説明

(委員長) 先にこの18年間の取り組みをざっとお話させていただいて、ここ最近特に重点的に取り組んでいる事業ということで説明させていただきました。食育推進ボランティアの皆さんや食育応援店事業の話、野菜の摂取量向上について、若い世代の食育への取り組みについて説明させていただきました。いかがでしょうか。

(委員) 色々な会議に参加させていただいておりますけれども、これほどたくさんの結果を残してしっかりやってらっしゃる会に出会ったことがないので本当に素晴らしいなと思いました。色々なことをやっていると、なかなか方向性ですとか、内容がバラバラして複雑ですけど、今期10期に対して、最後のページに目標や全体会議みたいな感じで書いてございますけれども、第1回、第2回、3回とそれぞれテーマを決めて話し合うようなかたちで進めていくのでしょうか。今まで9期までやっているのです、今さらかと思いますが、予習をして参加したいと思います。もし予定がございましたら方向性だけでもお伝えいただければと思います。

(事務局) お褒めのお言葉をいただきありがとうございます。この後、10期でどのような活動をしていこうか、事務局からご提案をさせていただく予定になっています。提案について、本日ご承認いただきましたところで、第2回以降で具体的な内容をご案内させていただく予定になっておりますが大丈夫でしょうか。

(委員) ありがとうございます。

(委員長) この後、資料3も説明させていただいて会議の進め方を見ていただけたらと思います。よろしく願います。他にいかがでしょうか。資料2の活動の中で、実際に関わっていただいた方もいらっしゃると思いますがいかがでしょうか。これまでの感想でも結構です。

(委員) ボランティアをしております。先月、「高松みらいのはたけ」で「ちゃんとごはん」を担当しました。お子さんを中心に保護者の方と、最初に朝集合して野菜をとって、泥だらけのお子さんがお部屋に入ってきて、まず手を洗うところから大事だよってという話からはじめました。その後、一緒にお野菜をちぎって、だしのいい匂いがする中で、麻婆豆腐と一緒に作る体験をしました。お子さんたち、初めて包丁を持つお子さんもいて、左手はねこの手にしないと手が切れちゃうよっていうと、ギュッと握ったりするんですね。そういう姿を見ながら、包丁の持ち方を学んで、最後に保護者の皆さんと一緒に自分たちが採ってきた野菜がいっぱい入った味噌汁をお代わりしながら食べている姿を見て、本当にボランティアをやって良かったなと思います。事業の募集人数が少なく、すぐ満杯になってしまうということで、そういう活動が色々なところで沢山でできればもっともっと練馬区の野菜を皆さんに食べていただけるのではないかなと思います。楽しい体験でした。

(委員長) 練馬は 23 区内で農地面積が一番大きいので、実際の畑で採ったものを、すぐ目の前で収穫してすぐ料理することができるので、ぜひそうした取組を広めていければと思います。その時は、JA の皆さんにご協力いただいていると思いますが、事業のことなどをお話していただければ。

(委員) 4 月に異動したのでどんな状況だったかということは詳細に聞いておりませんが、農協としては広報活動に力を入れたいと思っておりますので、こうした場で協力しながら地場産の農産物を PR できる非常に有意義な活動なのかなと思っています。

(委員長) ぜひ協力させていただいて一緒に取り組みを進められればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

(委員) 資料 2－3 のところで、小学生や中学生を対象にするということですが、実際にどんなことをやったのか教えていただきたいということと、「これならできるちゃんとごはん」冊子を今年作られたということで、どこにどう配布するのか教えてください。

(事務局) 小学生、中学生、特に中学生は私たちが活動できる機会が少ないのですが、児童館の主催で児童館を利用する方を対象に「ちゃんとごはん」事業を実施させていただいております。「これならできるちゃんとごはん」冊子につきましては 3 月に完成し、まだ活用の機会が得られていません。まさにこの後、皆さんからご意見を賜りたいと思っていますところです。

(委員長) これから配っていくということですね。完成はしているけれどもそこもご相談させて頂きたいと。

(事務局) はい。よろしくお願いいたします。

(委員長) 次に資料3で第10期の活動について説明させていただいて、これまでの部分も含めて何かあれば改めてご意見、ご質問を頂ければと思います。では資料3の説明をお願いいたします。

(事務局) 資料3の説明

(委員長) 資料3で第10期の活動ということで庶務からの提案ということでございます。いかがでしょうか。こちらの会議は次の資料にもありますが、年4回ほど開催する予定でございます。会議は2部構成で考えていくということで、次回から全体会を行って、その後に委員のみの意見交換、もう少しでも感じた感じで自由に意見を出していきましようというような感じです。今期のテーマは3つ提案させて頂きまして、主にこの3つのテーマについて会議、委員会全体で検討していければということでございますけれども、本日まだ発言されていない方がいらっしゃいますか。

(委員) 実際に「ちゃんとごはん」の活動に参加させていただいて、今まではだいぶ数が少なかったですが、ここにきてずいぶん実施される機会も増えるようになっていきます。今は児童館がメインですが色々なところでできるといいですね。

(委員) この「ちゃんとごはん」という取り組みを知らなくて、この会議でいろんな食育をやられていることを今知ったという感じです。大学生とか同じ世代の人たちは知らない人の方が断然多いと思います。大学などを視野に入れてくださっていると思いますが、例えば、どう大学生を巻き込むかなどなにかお考えがあればお聞きしたいと思います。

(委員長) その辺りも議論していければなという感じですかね。

(委員) 色々な取り組みをされていて素晴らしいなと感じました。私も大学との連携というところに興味を持ちました。これまで大学との連携というのは日本女子大学以外はやってこられたのでしょうか。日本女子大は練馬区ではないですが、どのような経緯で日本女子大と協力したのでしょうか。練馬区内の大学と協力できればいいなと感じました。

(幹事) 練馬区内で栄養学科のある大学がなかったこと、また大学から行政と一緒に何かできればという話があり実施しました。実施していくなかで大学生とどのような協力ができて、こうした結果ができるという結果をふまえたうえで、練馬区内の大学にお声がけさせていただければと考え進めてきました。

(委員長) 最初の段階では調査の実施ということもあり、専門的に勉強されている学生の方々ということで日本女子大学にお願いしましたが、今後の取り組みの中では特に学科にこだわらなくても大学生の若い皆さんに広げるという視点では一緒に連携していただくのもあるのかなというふうに考えています。他の委員の方、ご意見はございますか。

(委員) 自炊を始めてすぐの学生さんや社会人が、何から手を着けていいのか分からな

い人が多いと思いますが、「ちゃんとごはん」の冊子の中を見ますと、調理器具は最低限これだけです、基本的な誰でも知っているだろうと思うようなことが書いてあります。親がやっていることを見ているようで見ていないことがいっぱい書いてあります。私の孫もそうですが、お米の炊き方や研ぐってということがどういうことか分からないとか、最低限の調理器具、包丁とかボウルとかそういうものもあるんだと、そういうところから教えてくれる人というのはなかなかなかったんですけれども、親もおばあちゃんもここから教えてあげればいいんだということがわかりました。

(委員長) ぜひこれまで料理をやったことがない方々、今までできなかった方々に活用いただければと思っておりますので、事業の方もご相談させていただければと思います。よろしくお願いします。

(委員) 私も今日初めて「ちゃんとごはん」の存在を知って、内容にある「おにぎりを買ってカップ麺って」という項目に冷や汗かいているところですけども、学生でお昼ご飯に主菜・副菜・主食をとっている人はなかなかいないと思うので、いま食べているものに追加をして買うだけで「ちゃんとごはん」にできるということを広めることは、とても効果があることなのかなと考えました。

(委員長) そのページを見ると私たちも気になります。ちょっと一工夫してみようっていうのが伝わってきていいなと思っています。

(委員) 私は高松みらいのはたけで行った事業の保護者向けの講座の講師として今回事業に参加させて頂きました。私も回数が増えればいいなと思っております。ただ場所をどうするのか、そこに関わる人たちはどうすればいいのか。例えば私も飲食店を併設しておりますので、当店で実施すればいいのかなと思うのですが、飲食店で実施する場合に気を付けなければいけないこともあります。そういったことを皆様と議論していけたらいいのかなと思っております。常々野菜を採って、自分たちでシンプルに食べるという活動をしたいなと思っていたので、何かいい企画がつかれないかなと思っています。

(委員) 私は保育園の代表として出席させていただいているので、若い世代への食育の取組というところに非常に興味を覚えます。保育園の子供たち、まだ小学校入学前ですが、しっかりと取り組みを積み重ねていくと大きくなっても覚えていてくれるということが最近良く分かりました。例えば卒園した子供たちは、小学校に行くと親が迎えに来るわけではなく、自分で帰ってきて、お父さんお母さんがまだいない時間に自分で鍵を開けて家に入るという生活に切り替わります。保育園に遊びに来たときに「最近どう？」と聞いてみると、自分でごはん炊いて味噌汁を作って、お父さんお母さんを待っているっていう子が実は何人かおりました。「できるの？」と聞くと、「うん、やってみたらちゃんとできる」という事だったんです。コンビニのご飯も大事だけれど、自分でごはん炊

いてお味噌汁ひとつあって、あと何かお母さんが一品を作ってくれたら夕飯がすぐ食べられるんだ、なんて経験が大事なのかなと思います。小さい頃からの取組がやはり蓄積なので、保育園に持ち帰って何かお力にできることがあると嬉しいなと思いました。よろしくお願いします。

(委員) 私どもの場合、月1回こども食堂を実施しております。こども食堂という名前であってもみんなの食堂というかたちで、高齢者の方や、障害を持った方が、一人暮らしで自分ではなかなかバランスのいい食事が作れないところもあって、月1回利用してくださっています。未就学児と親子で参加していただいている方もいます。地域の農家から寄付というかたちで旬の野菜をいただいて、それを見て皆で献立を決めますが、やはり採れたての野菜のおいしさが一番の食育だと思いますが、お母さんの方が今日のメニューはといいなですとか、子どもが家では食べないけどここで出ると食べるっていう事があります。23区でも練馬区は農地が多いですし、農家が多いというところでは食についての関心を持ってくださる方が多くなってくるのかなと思います。こども食堂の方も練馬区はかなり広がってきていまして、採れたての野菜のおいしさを知るなどの経験をしながら食育を伝えていけたらと思います。また、障害を持った方が一人暮らしをされていて「ちゃんとごはん」の冊子はフリガナが振られているので読みやすく、見ながら、買ってくるというよりも自分で準備してみたりと食に関心を持ってバランスの良い食事を実践していけたらいいのかなと思います。

(委員長) 引き続き地域との繋がり、同じ取り組みの横の繋がりということを大切にしながらやっていければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。だいぶ時間も迫ってまいりましたので、資料4 会議日程について説明いただいてよろしいですか。

(事務局) 資料4の説明

(委員長) 今年の会議日程と大きなイベントの日程となりますのでご確認いただければと思います。委員からご提案を頂きましたそれぞれの会議ごとのテーマというのは、会議日程が近づいたところで各委員の方にご案内するということです。それでは本日はお忙しい中ご協力いただきましてありがとうございます。次回が先ほど申し上げたとおり10月22日(水)ということでございます。暑い日が続くようですがお体にお気を付けください。本日の会議はこれで終了したいと思います。ありがとうございました。